研究ノート

# モンゴル語の補助動詞 ög- の機能について
## ― 内モンゴルにおけるモンゴル語「中部方言」を中心に ―

# Function of the Auxiliary Verb *ög*- in Mongolian:
## With Special Focus on Mongolian Central Dialects in Inner Mongolia

斯欽格日楽
（東京外国語大学大学院博士後期課程）
SIQINGERILE
（Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies）

**キーワード：**授受的意味、「行為の完遂」の意味、限界性、意志性
Keywords: Benefactive, Accomplishment, telicity, Volitionality

目　次

1. はじめに
2. 補助動詞の定義
3. 先行研究
4. 研究方法
5. 分析
　5.1. 主動詞が非限界動詞（主体動作動詞）の場合
　5.2. 主動詞が限界動詞（主体動作・客体変化動詞と主体変化動詞）の場合
6. コーパスとアンケートの照らし合わせ
7. 補助動詞ög- が表す意味とその意味が実現する条件について
　7.1. 主動詞の観点から
　7.2. 副動詞の観点から
8. おわりに

## 1. はじめに

モンゴル語[1]の動詞 ög-[2]は、本動詞として使われる場合、「①相手にものを与える、渡す、受け取らせる、娘を嫁がせる」（Mongγul kelen−ü toli nayiraγulqu duγuyilang 1999: 590 ）という意味を表すが、補助動詞として使われる場合は、「授受的意味」（Čenggeltei 1999: 319、송재목1998: 100、Сун Бёнгγ 2011: 94）と「行為の完遂」（Dawadaγba 1999: 64）の意味を表すとされている。本稿では、コーパスを用いて、内モンゴル「中部方言」における補助動詞ög- の意味と、その意味が実現する条件を明らかにすることを目的とする。意味分析は、筆者[3]の内省によるものであるが、より客観性の高い結果を得るため、対象となる地域の方言話者にアンケート調査を実施する。

## 2. 補助動詞の定義

本稿では、斯欽格日楽（2015）に従い、補助動詞を以下のように定義する。

①形式の面では、主動詞（単純副動詞であるV-ǰu/-ǰü/-ču/-čü 、V-γad/-ged、V-n[4]）に後続し、主動詞と補助動詞の間にポーズをおく[5]ことが不可能なもの[6]、

②意味の面では、単独で用いられる場合に持つような語彙的意味を表すのではなく、主動詞が表すことがらに、アスペクトなどの文法的な意味を添えるものとする。

---

1　本稿では、内モンゴルにおけるモンゴル語「中部方言」のみを扱うことにする。栗林（1989）は、ホルチン方言、ハラチン方言、バーリン方言、チャハル方言、ハルハ方言、オルドス方言、アラシャン方言を「中部方言」とし、その中に、黒龍江省、吉林省、遼寧省などの内モンゴル以外の地域のモンゴル語話者によって話されている方言も含めている。本稿での「中部方言」の分類は、栗林（1989）に従うが、これら内モンゴル以外の地域の方言を対象外とする。「中部方言」にハルハ方言があるため、ハルハ方言の参考文献も参照することにする。

2　モンゴル文字の表記は、清格爾泰（1991）に従いGrønbech and Krueger（1976）方式によって、ローマ字転写したものである。キリル文字表記は、송재목（1998）に従い、ローマ字転写したものである。ただし、文献に関しては、キリル文字表記のまま掲載する。ög- については、グロスの内に適切な表現が見つからないため、そのまま表記する。

3　1974年赤峰市巴林右旗生まれのバーリン方言話者である。

4　この用語は、フフバートル・松川・栗林（1997）に従う。単純副動詞接尾辞には、-ǰu/-ǰü/-ču/-čü 、-γad/-ged 、-n がある。それぞれの異形態は、語幹末音と母音調和による異形態である。Čenggeltei（1999）によると、それぞれの接尾辞は次のような意味を表す。「-ǰu/-ǰü/-ču/-čüは、主動詞と補助動詞を結びつける場合、1語としての働きをさせる。-γad/-gedは、前項の動作を終わらせてから後項の動作を行うという意味を表し、前項動作が既に行われた状態を表す。-nは、1つの動作が繰り返して行われる、或いは瞬間的に行われるという意味を表す」（Čenggeltei 1999: 251-252）。

5　話し言葉を想定しているが、書き言葉では、コンマを置くことを指す。

6　寺村（1984）は、「飲んできた」について、共に実質的な意味を表す場合もあれば、「来る」は補助動詞として空間的意味を表す場合もあるとしている。一方「飲んで、きた」について、共に実質的な意味を表すと述べている。つまりコンマをつけることが可能であれば、共に実質的な意味を表すと言える。モンゴル語にもこの説は当てはまる。

## 3. 先行研究

補助動詞 ög- が授受的意味を表すと述べている先行研究には、송재목（1998）、Čenggeltei（1999）、Сун Бёнгγ（2011）などがある。

（1）Bat　Tuya-d　Angli-in　tuxai　yari-ad　ög-sön.
バト　トヤ-DAT　イギリス-GEN　ついて　言う-ANT　ög-PAST
バトさんは、トヤさんにイギリスについて話してあげた。（송재목 1998: 100）

（2）či　ene　kümün-dü　ǰam　sayiqan　ǰiγa-γad　ög-0
あなた　この　人-DAT　道　ちゃんと　教える-ANT　ög-IMP
あなたがこの人に道をちゃんと教えてあげなさい！（Čenggeltei 1999: 320）

（3）ta　nad-tai　xamt　yav-ǰ　ög-nö　üü?
あなた　私-COM　一緒に　行く-SIM　ög-PRS　QP
あなたが私と一緒に行ってくれる？（Сун Бёнгγ 2011: 94）

송재목（1998）は、補助動詞 ög- について、「-j/-c、-aad[4] [7]に後続して使われる。どちらの副動詞接尾辞に後続しても意味上差異はないが、主に -j/-c が多く使われる」（송재목 1998: 93）と述べている。Сун Бёнгγ（2011）は、補助動詞 ög- について、「-j/-c 、-aad[4] に後続することは可能であるが、-n 、-saar[4] [8]に後続することは不可能である」（Сун Бёнгγ 2011: 94）と述べている。

補助動詞 ög- が「行為の完遂」の意味を表すと述べている先行研究には、Dawadaγba（1999）がある。

（4）oru+mör　ügei　alaγ_a　bol-u-γad　ög-čei.
跡形　NEG　空　なる-E-ANT　ög-PAST
跡形もなく、いなくなってしまった。（Dawadaγba 1999: 64）

補助動詞 ög- が否定表現と共起して使われる場合について、内蒙古大学蒙古語文研究室編（1976）は、「具体的な意味はないが、実現できない行為を際立たせ、それに対し、語気を強調する」（内蒙古大学蒙古語文研究室編 1976: 278）と述べている。

（5）üime-ldü-ged　bol-ǰu　ög-kü　ügei.
騒ぐ-RCP-ANT　なる-SIM　ög-PRS　NEG
騒いで、言うことを聞かない。（内蒙古大学蒙古語文研究室編 1976: 278）

---

7　それぞれモンゴル文字表記の -ǰu/-ǰü/-ču/-čü と -γad/-ged に対応する。
8　それぞれモンゴル文字表記の -n と -γsaγar/-gseger に対応する。

## 4. 研究方法

本稿では、内モンゴル大学で構築された“100 tümen üge-tei odu üy_e-yin mongγul kele bičig-ün deyita kömürge（100万語現代モンゴル語書き言葉コーパス）”の中から、1900年以降生まれの作者[9]の作品で、かつ内モンゴルにおける「中部方言」の出身者の作品のみを抽出し、下位方言ごとにコーパスを作成した。作成したコーパスの詳細は以下の通りである。

表1　コーパスから見つかった内モンゴルのモンゴル人作者の出身地による方言分類

| 方言 | 作者名 | 数 | 生年月日 | 作者の出身地 |
|---|---|---|---|---|
| ホルチン（178,587単語） | Perlei.Be | 2 | 1942 | 哲里木盟[10]扎魯特旗 |
| | Odzar.Le | 1 | 1941 | 哲里木盟達爾罕旗[11] |
| | Asar.Me | 1 | 1936 | 興安盟科爾沁右翼中旗 |
| | Buyanbatu.Ge | 1 | 1937 | 興安盟科爾沁右翼中旗 |
| | Ṣayinbayar.Te | 1 | 1938 | 興安盟 |
| | Uyaγatai | 1 | 1943 | 興安盟科爾沁右翼前旗 |
| | Badba | 2 | 1939 | 哲里木盟科爾沁左翼後旗 |
| | Tamusürüng | 1 | 1940 | 哲里木盟科爾沁左翼後旗 |
| | Rinčindorǰi.Me | 1 | 1939 | 哲里木盟科爾沁左翼後旗 |
| | Dawaodsar.F | 1 | 1908 | 哲里木盟科爾沁左翼後旗 |
| ハラチン（41,858単語） | Büketemür | 1 | 1945 | 哲里木盟庫倫旗 |
| | üni ulaγan.Me | 1 | 1944 | 卓索図盟喀喇沁中旗[12] |
| バーリン（30,035単語） | Odzar.A | 7 | 1924 | 赤峰市巴林左旗 |
| | Edünsangbu | 1 | 1949 | 赤峰市巴林右旗 |
| | Sodnam | 2 | 1938 | 赤峰市巴林左旗 |
| チャハル（47,357単語） | Bürintegüs | 2 | 1948 | 巴彦淖爾盟[13]烏拉特中旗 |
| | Ligden | 1 | 1943 | 錫林郭勒盟鑲黄旗 |
| | Serengwayiǰab | 1 | 1922 | 錫林郭勒盟正鑲白旗 |
| | Batumöngke | 2 | 1951 | 錫林郭勒盟正鑲白旗 |
| | Čoirabǰai.Го | 1 | 1937 | 錫林郭勒盟正鑲白旗 |
| | Гangpürbü | 1 | 1926 | 錫林郭勒盟正藍旗 |
| | Ṣayinčoγtu.Na | 1 | 1914 | 錫林郭勒盟正藍旗 |
| | Ṣerengwangǰil.De | 1 | 1961 | 錫林郭勒盟西烏珠穆沁旗 |
| ハルハ（2,159単語） | ǰamiyang.Го | 1 | 1920 | 錫林郭勒盟阿巴嘎右旗[14] |
| オルドス（4,990単語） | Ayungγ_a | 1 | 1947 | 伊克昭盟[15]鄂托克旗 |
| アラシャン（3,972単語） | Ulaγangerel | 1 | 1963 | 阿拉善盟左旗 |

9　1900年以前生まれの作者の作品は、古い文体を使う傾向がみられるため、除外する。
10　今の通遼市である。
11　今の科爾沁左翼中旗である。
12　今の赤峰市の喀喇沁旗である。
13　今の巴彦淖爾市である。
14　今の阿巴嘎旗である。
15　今の鄂爾多斯市である。

コーパスは、合計308,958単語であり、サイズは、978 KBである。データ収集に当たっては、文字列検索ソフトKwic Finderを用いて、V-ǰu/-jü/-ču/-čü 、V-γad/-ged、V-nに後続する補助動詞 ög- を含む用例を集め、さらにその中から、本動詞の意味で使われているものに関しては手作業で除外する。

補助動詞 ög- が表す意味は、まず、先行する主動詞の限界性と密接な関係があると仮定し、工藤（1995）に倣い、動詞を内的限界動詞、非内的限界動詞[16]に分けることにする。主動詞の意味判断は、構文的な特徴[17]を考慮すると共に、定延（2005）の「逸脱仮説」[18]をも参照しながら分類を行う。

次に、補助動詞 ög- が表す意味は、先行する主動詞の意志性とも密接な関係があると仮定し、吉川（1989）に倣い、動詞を意志動詞（人間の意志的な動作を表す動詞）と無意志動詞（人間の意志によってコントロールできない動詞）に分ける。

1）非内的限界動詞

1-1）主体動作動詞

意志動詞: kele-（言う）、yari-（話す）、ǰiγa-（教える）…など

無意志動詞: oru-（降る）、quča-（吠える）…など

2）内的限界動詞

2-1）主体動作・客体変化動詞

意志動詞: negege-（開ける）、oruγul-（入れる）、quči-（覆う）…など

2-2）主体変化動詞

意志動詞: yabu-（行く）、saγu-（座る）…など

無意志動詞: bol-（なる）、unta-（寝る）、kür-（届く）…など

意味分析は、筆者の内省によるものであるが、より客観的であることを確認するため、「中部方言」の話者[19]にアンケート調査を実施した。アンケートの内容は、以下の通りである。

1. 本稿で扱う例文に関して、ög- が補助動詞として使われているか否かを確認するために、主動詞を省いた文を提示し、〇か×かで回答してもらった。
2. 肯定表現との共起では、以下の4つの回答の中から、補助動詞 ög- が表す意味にもっとも近い回

[16] 工藤（1995）は、動詞を外的運動動詞、内的情態動詞、静態動詞に分け、さらに、外的運動動詞を、「主体動作・客体変化動詞（内的限界動詞）」、「主体変化動詞（内的限界動詞）」、「主体動作動詞（非内的限界動詞）」に分けている。コーパスからは、内的情態動詞、静態動詞が見つからなかったため、本稿では、外的運動動詞のみを扱うことにする。

[17] 例えば、čoki-（打つ）（表2の14）は、目的語がutasu（電話）の場合、電話を掛ける（主体動作動詞）という意味になり、後続する ög- が補助動詞として使われるが、「なげる」（主体動作・客体変化動詞）という意味もあり、この場合、後続する ög- が補助動詞ではなく、本動詞として使われる。

[18] 定延（2005）は、「逸脱仮説」について「動作とは、当該のモノのデフォルト状態からの逸脱であり、これを表すのが『動作動詞』である。変化とは、当該のモノの直前状態からの逸脱であり、これを表すのが『変化動詞』である。つまり動作も変化も基準からの逸脱であり、両者の違いは、基準が『当該のモノのデフォルト状態』か『当該のモノの直前状態』かの違いである」（定延2005: 2）と述べている。

[19] 調査に協力してくださった方々は1995～1997年生まれの大学生である。各方言の協力者は、5人ずつである。

答を一つ選んでもらった。

A. ken nigen-ü tölüge yaγu nige kikü, darui busud-un tölüge güičedkekü gesen udq_a-tai（誰かのために何かをやってあげる、つまり相手のために行うという意味を表す）

B. tuqai-yin üile-yi nigemüsün üiledkü, darui nigente ～ daγusuγsan gesen udq_a-tai（当該動作の行為の完遂、つまり既に～し終わったという意味を表す）

C. öger_e udq_a（別の意味）

D. man-u nutuγ-tu inggiǰü yariqu ügei（私の故郷ではこのように言わない）

3. 否定表現との共起では、以下の4つの回答の中から、補助動詞 ög- が表す意味にもっとも近い回答を一つ選んでもらった。

A. tuqai-yin üile-i nigemüsün üiledkü, darui nigente ～ daγusuγsan gesen udq_a-tai（当該動作の行為の完遂、つまり既に～し終わったという意味を表す）

B. yamar nigen ǰüil-ni sanaγ_a-bar-ni bolǰu ögkü ügei gesen udq_a-tai（ある物事が思い通りにならないという意味を表す）

C. öger_e udq_a（別の意味）

D. man-u nutuγ-tu inggiǰü yariqu ügei（私の故郷ではこのように言わない）

4. 授受的意味を表すことを確認するために、文中に ken nigen-dü（誰かに）という受益者を提示し、〇か、×かで回答してもらった。

5. 意志性がかかわっているかを確認するため、意志を表す tusqayilan（わざわざ）という副詞を文中に提示し、〇か、×かで回答してもらった。

## 5. 分析

5.1.では、非内的限界動詞の場合について、5.2.では、内的限界動詞の場合について検討する。

### 5.1. 主動詞が非限界動詞（主体動作動詞）の場合

表2では、補助動詞 ög- と共起する主動詞が主体動作動詞の場合の語幹及び現れた例文数を提示する。

表2　主動詞が主体動作動詞の場合の語幹及び現れた例文の回数

| 順番 | 主体動作動詞 | 肯 | 否 |
|---|---|---|---|
| 1 | kele-（言う） | 27 | 2 |
| 2 | jiγa-（教える） | 12 | 0 |
| 3 | yari-（話す） | 8 | 0 |
| 4 | arči-（拭く） | 4 | 0 |
| 5 | jülgü-（拭く） | 3 | 0 |
| 6 | ungsi-（読む） | 3 | 0 |
| 7 | beledke-（準備する） | 2 | 0 |
| 8 | tanilčaγul-（紹介する） | 2 | 0 |
| 9 | arγačaγa-（工夫する） | 1 | 0 |
| 10 | baγsila-（教える） | 1 | 0 |
| 11 | biči-（書く） | 1 | 0 |
| 12 | čimegele-（伝える） | 1 | 0 |
| 13 | čirmayi-（努力する） | 1 | 0 |
| 14 | čoki-（打つ） | 1 | 0 |
| 15 | daγuda-（呼ぶ） | 1 | 0 |
| 16 | daru-（押す） | 1 | 0 |
| 17 | eri-（探す） | 1 | 0 |
| 18 | jala-（要請する） | 1 | 0 |
| 19 | jiru-（描く） | 1 | 0 |
| 20 | kögǰimde-（演奏する） | 1 | 0 |
| 21 | qabsur-（手伝う） | 1 | 0 |
| 22 | qadaγala-（保存する） | 1 | 0 |
| 23 | qamǰi-（手伝う） | 1 | 0 |
| 24 | qariγul-（答える） | 1 | 0 |
| 25 | siidbürile-（解決する） | 1 | 0 |
| 26 | tata-（引く） | 2 | 0 |
| 27 | tayil-（（意味を）解く） | 1 | 0 |
| 28 | tayilburila-（説明する） | 1 | 0 |
| 29 | temdegle-（記録する） | 1 | 0 |
| 30 | töbkinegül-（支度する） | 1 | 0 |
| 31 | üǰe-（見る） | 1 | 0 |
| 32 | uqaγul-（宣伝する） | 1 | 0 |
| 33 | ukiya-（洗う） | 1 | 0 |
| 34 | čir-（引っ張る、引く） | 1 | 0 |
| 35 | daγa-（従う） | 0 | 1 |
| 36 | damna-（担ぐ） | 0 | 1 |
| 37 | ide-（食べる） | 0 | 1 |
| 38 | amalda-（約束する） | 0 | 1 |
| 合計 | | 88 | 6 |

表2から分かるように、主動詞の位置に主にkele-（言う）、jiγa-（教える）、yari-（話す）などの言語活動動詞がきている。すべて意志動詞である。

（6）oči-ju　üǰe-ged　ög-gü-geči　küü　mini.
行く-SIM　見る-ANT　ög-E-OPT　息子　1POSS
行ってみてくれ。息子よ。　（Ayungγ_a：J̌irγal ba tegün-ü abaγ_a）

（7）büdügün　taγun　bey_e　ni　bodul-i　ni　daγa-ju　ög-gü-gsen　ügei.
大きい　太い　身体　3POSS　思い-ACC　3POSS　従う-SIM　ög-E-PRF　NEG
大きくて太い身体が思うように動かなかった。　（Badba: eremdeg ǰeremdeg kümüs）

例文（6）は、Čenggeltei（1999: 319）の説を裏づける例文で、恩恵を表す授受表現である。方言調査において、文中に「誰かに」という受益者の表示と意志を表す「わざわざ」という副詞の提示が可能であり、「誰かのために何かをやってあげる、つまり相手のために行うという意味を表す」という回答が得られた。田中（2001）は、日本語の「～てくれる」について、「否定表現と共起する場合、不満を表明する」（田中2001: 215）と述べている。例文（7）は、否定表現と共起し、思い通りに行かないことに対し、困っていることを表している。内蒙古大学蒙古語文研究室編（1976）は「実現できな

い行為を際立たせ、それに対し、語気を強調する」（内蒙古大学蒙古語文研究室編 1976 : 227）と述べているが、本稿では、田中（2001）に倣い、不満を表す授受表現とする。例文（7）は、自分自身に対する不満を表している。方言調査において、文中に「誰かに（自分自身に）」という受益者の表示が可能であり、「あることが思い通りにならないという意味を表す」という回答が得られた。

### 5.2. 主動詞が限界動詞（主体動作・客体変化動詞と主体変化動詞）の場合

5.2.1. では、主動詞が主体動作・客体変化動詞の場合について、5.2.2. では、主動詞が主体変化動詞の場合について検討する。

#### 5.2.1. 主動詞が主体動作・客体変化動詞の場合

表3では、補助動詞 ög- と共起する主体動作・客体変化動詞の場合の語幹及び現れた例文の回数を提示する。

表3　主動詞が主体動作・客体変化動詞の場合の語幹及び現れた例文の回数

| 順番 | 主体動作動詞 | 肯 | 否 |
|---|---|---|---|
| 1 | negege-（開ける） | 5 | 0 |
| 2 | oruγul-（入れる） | 2 | 0 |
| 3 | quči-（覆う） | 2 | 0 |
| 4 | sekü-（めくる） | 2 | 0 |
| 5 | tegü-（拾う） | 1 | 1 |
| 6 | beyelegül-（実現させる） | 1 | 0 |
| 7 | bütüge -（完成させる） | 1 | 0 |
| 8 | čeberle-（掃除する） | 1 | 0 |
| 9 | debis-（敷く） | 1 | 0 |
| 10 | elgü-（掛ける） | 1 | 0 |
| 11 | emne-（治療する） | 1 | 0 |
| 12 | emüsügül-（着せる） | 1 | 0 |
| 13 | ergü-（持ち上げる） | 1 | 0 |
| 14 | ǰala-（まっすぐにする） | 1 | 0 |
| 15 | ǰasa-（整える） | 1 | 0 |
| 16 | uγsara-（組み立てる） | 1 | 0 |
| 17 | ǰulγaγa-（抜く） | 1 | 0 |
| 18 | kemne-（掛ける） | 1 | 0 |
| 19 | nočuγa-（火をつける） | 1 | 0 |
| 20 | qanduγul-（向ける） | 1 | 0 |
| 21 | selbi-（補充する） | 1 | 0 |
| 22 | aldarγa-（ほどく） | 1 | 0 |
| 23 | uya-（結ぶ） | 1 | 0 |
| 24 | taγaraγul-（合わせる） | 1 | 0 |
| 25 | töbkinegül-（片付ける） | 1 | 0 |
| 26 | könggele-（軽くする） | 0 | 1 |
| 合計 | | 32 | 2 |

主体動作・客体変化動詞の場合は、すべて意志動詞である。

（8）küse-gsen　sana-γsan　bökün-i　čini　bide　bür　beyele-gül-ü-n
希望する-PRF　思う-PRF　すべて-ACC　2POSS　私たち　全て　実現する-CAU-E-ASS
ög-čü　čida-n_a.
ög-SIM　できる-PRS
あなたが望むすべてのことを私たちが実現させてあげることができる。
（üni ulaγan.Me: Toryudčud-un alta-n ölügei）

（9）Malči-d-un...（中略）tegeger_e+daruγasu-yi　könggele-ǰü　ög-kü　ügei.
牧民-PL-GEN　負担-ACC　軽くする-SIM　ög-PRS　NEG

牧民たちの負担を軽くしてくれない。　（Bürintegüs: moturtu Danzan）

例文（8）は、恩恵を表す授受表現である。方言調査において、文中に「誰かに」という受益者の表示と意志を表す「わざわざ」という副詞の提示が可能であり、「誰かのために何かをやってあげる、つまり相手のために行うという意味を表す」という回答が得られた。例文（9）は、不満を表す授受表現である。方言調査において、文中に「誰かに」という受益者の表示が可能であり、「あることが思い通りにならないという意味を表す」という回答が得られた。

梁井（2006）は、「本来、意志動詞であるが、「うっかり～する」のように無意志的に行われる動詞を非意志動詞と名付けている」（梁井 2006: 145-146）。コーパスからは、主動詞が非意志動詞である例文が見つからなかったが、例えば、čomu-yi ni medegsen ügei qaγalaγad ögčei/öggügsen.（（誰かの）コップをうっかり割ってしまった。）のような例文は、Dawadaγba（1999）の説を裏づける例文であり、「行為の完遂」を表す。ただし、kereglekü ügei boluγsan čomu-yi ni tusqayilan qaγalaγad ögčei/öggügsen.（（誰かの）使わなくなったコップをわざわざ割ってあげた。）は、授受的意味になる。

### 5.2.2. 主動詞が主体変化の場合

表4では、補助動詞 ög- と共起する主体変化動詞の場合の語幹及び現れた例文の回数を提示する。

表4　主動詞が主体変化動詞の場合の語幹及び現れた例文の回数

| | 主体動作動詞 | 肯 | 否 |
|---|---|---|---|
| 1 | yabu-（行く） | 6 | 1 |
| 2 | bol-（なる） | 3 | 1 |
| 3 | unta-（寝る） | 3 | 1 |
| 4 | kür-（届く） | 0 | 3 |
| 5 | dökü-（近づく） | 0 | 2 |
| 6 | aril-（消える） | 1 | 0 |
| 7 | önggere-（経つ） | 0 | 1 |
| 8 | ǰigi-（伸ばす） | 1 | 0 |
| 9 | sungγa-（伸ばす） | 1 | 0 |
| 10 | sal-（離れる） | 0 | 1 |
| 11 | tengkere-（回復する） | 0 | 1 |
| 12 | olda-（見つかる） | 0 | 1 |
| 13 | taγara-（合う） | 1 | 0 |
| 合計 | | 16 | 12 |

主体変化動詞の場合には、意志動詞もあれば、無意志動詞もあった。まず意志動詞との共起について検討する。

（10）angqan-u　geyičin　čini　yabu-γad　ög-gü-gsen　siu…（省略）　kimda　kilbar
先ほど-GEN　客　2POSS　行く-ANT　ög-E-PAST　MP　安い　簡単
siidbürilegen-ü　mal+qunar　qarγu-bal　qubin-daγan　ol-qu　yum　uu
解決する-GEN　家畜　会う-COND　自分-DAT・REFL　得る-PRS　MP　QP
geǰü　γorilla-ǰu　yabu-γ_a　bayi-ǰai.
と　ほしがる-SIM　行く-PRS　いる-PAST
先ほどの客が行っちゃったよ…（省略）安売りの家畜があったら、自分のものにしようと欲しがって来たそうだ。　（Edünsangbu: qabur-un qaliy_a）

(11) qarilčaγur-i bisi qayiratu küü-ben teberi-ǰü bayi-γ_a metü sal-ǰu
電話-ACC NEG 愛する 息子-REFL 抱く-SIM いる-VN ように 離れる-SIM
ög-kü ügei ǰiγura-ldu-ba.
ög-PRS NEG 付きまとう-RCP-PAST
受話器ではなく愛する息子を抱いているかのように（受話器を）手放してくれず付きまとった。
（Badba: nutuγ-un kümüs-ün toyimu ǰiruγ）

例文（10）は、「行為の完遂」の意味を表している。方言調査では、文中に「誰かに」という受益者の表示と意志を表す「わざわざ」という副詞の提示が不可能であり、「当該動作の行為の完遂、つまり既に～し終わったという意味を表す」という回答が得られた。主動詞は、意志動詞であるが、ここでは、話し手の意志と関わりのないところで行われた行為である。ただし、文脈を変えれば、授受的意味になる。例えば: či tegün-tei qamtu yabuγad ög!（あなたが彼と一緒に行ってあげなさい！）のような例文である。例文（11）は、不満を表す授受表現である。方言調査では、文中に「誰かに」という受益者の表示が可能であり、「あることが思い通りにならないという意味を表す」という回答が得られた。次に無意志動詞と共起について検討する。

(12) usu uuγu-lγa-n baγ_a+saγ_a yaγum_a ide-gül-ü-megče taγ nige unta-γad
水 飲む-CAU-AS 少し もの 食べる-CAU-E-MOM まったく 一 寝る-ANT
ög-čei
ög-PAST
水を飲ませて、ちょっと食べさせたら、すぐぐっすり寝てしまった。
（Čoyirabǰai. Γo: önüčin örügesün qoyar）

(13) arban ǰil ni yaγaki-ǰu eyi-ged önggere-gsen bolbaču, arbaqan qonuγ
十 年 3POSS どうする-SIM やる-ANT 過ぎる-PAST だが 十 日
ni yerü önggere-ǰü ög-kü ügei.
3POSS どうしても 過ぎる-SIM ög-PRS NEG
十年間は、なんとか過ぎたが、十日間だけはどうしも過ぎてくれない。
（Batumönke: qamar Lodun ）

例文（12）は、「行為の完遂」の意味を表している。方言調査では、文中に「誰かに」という受益者の表示と意志を表す「わざわざ」という副詞の提示が不可能であり、「当該動作の行為の完遂、つまり既に～し終わったという意味を表す」という回答が得られた。例文（13）は、不満を表す授受表現である。方言調査では、すべての方言において、「誰かに」という受益者の表示が可能であり、「あることが思い通りにならないという意味を表す」という回答が得られた。

## 6. コーパスとアンケートの照らし合わせ

補助動詞 ög- が表す意味とコーパスから見つかった例文を方言ごとに、表5に提示しておく。

表5　補助動詞 ög- が表す意味と方言ごとの用例数（延べ数）

| 方言／意味 | ホルチン方言 | ハラチン方言 | バーリン方言 | チャハル方言 | ハルハ方言 | オルドス方言 | アラシャン方言 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授受的意味 | 92 | 19 | 9 | 22 | 0 | 3 | 0 | 145 |
| 行為の完遂 | 2 | 0 | 1 | 8 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 合計 | 94 | 19 | 10 | 30 | 0 | 3 | 0 | 156 |

表5及びアンケート調査の内容を照らし合わせながら説明すると以下の通りである。

1. 方言調査において、本稿で扱った例文の主動詞を省略することが不可能であるとの回答が得られた。つまり、これらの例文で使われている ög- は、補助動詞として使われていることを証明している。
2. 授受的意味を表す場合は、コーパスから、ハルハ方言、アラシャン方言の例文が見からず、「行為の完遂」の意味を表す場合は、ハラチン方言、ハルハ方言、オルドス方言、アラシャン方言の例文が見つからなかったが、アンケート調査を通じて、すべての方言において、このような表現は使われていることが確認できた。
3. 方言調査を通じて、授受的意味を表す場合、肯定表現との共起では、恩恵の意味を表し、否定表現との共起では、不満を表すことが分かった。
4. 授受的意味を表す場合、文中に「誰かに」という受益者の提示が可能であり、意志を表す「わざわざ」という副詞と共起することが可能であるのに対し、「行為の完遂」の意味を表す場合は、「誰かに」という受益者の提示が不可能であり、意志を表す「わざわざ」という副詞と共起することも不可能である。

## 7. 補助動詞 ög- が表す意味とその意味が実現する条件について

7.1.では、補助動詞 ög- が表す意味が主動詞の種類とどのように関わっているかについて、7.2.では、補助動詞 ög- が表す意味が主動詞に後続する副動詞接尾辞とどのように関わっているかについてまとめておく。

### 7.1. 主動詞の観点から

補助動詞 ög- が表す意味が、主動詞の種類と密接な関係があることが分かった。以下、その詳細を把握するために、補助動詞 ög- が表す意味と、コーパスから見つかった用例数を主動詞種類別に表6にまとめておく。

表6　補助動詞 ög- が表す意味と主動詞の種類別に見つかった用例数（延べ数）

| 動詞類 / 意味 | 非限界動詞 | | 限界動詞 | | | | | | 合計 | | | | 総数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 主体動作 | | 主体動作・客体変化 | | 主体変化 | | | | | | | | |
| | 意志 | | 意志 | | 意志 | | 無意志 | | 意志 | | 無意志 | | |
| | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | |
| 授受 | 88 | 6 | 32 | 2 | 5 | 2 | 0 | 10 | 125 | 9 | 0 | 11 | 145 |
| 完遂 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 5 | 0 | 6 | 0 | 5 | 0 | 11 |
| 合計 | 88 | 6 | 32 | 2 | 11 | 2 | 5 | 10 | 131 | 9 | 5 | 11 | 156 |

表6のまとめと本文の内容を照らし合わせながら説明すると以下の通りである。

1. 補助動詞 ög- は、主に授受的意味を表すが、「行為の完遂」の意味をも表す。
2. 授受的意味を表す場合は、限界・非限界動詞のどちらとも共起し、肯定・否定表現のどちらとも共起する。この場合の主動詞は、ほとんど意志動詞であるが、無意志動詞の場合は、必ず否定表現と共起する。
3. 「行為の完遂」の意味を表す場合は、限界動詞のみと共起し、肯定表現のみと共起する。この場合の主動詞は、ほとんど無意志動詞であるが、意志動詞の場合は、非意志的に行われた行為、あるいは話し手の意志と関わりのないところで行われた行為のみである。

### 7.2. 副動詞の観点から

補助動詞 ög- は、副動詞 V-ju/-jü/-ču/-čü、V-γad/-ged、V-n に後続することが分かった。以下、補助動詞 ög- が表す意味と主動詞に付く各副動詞接尾辞ごとの用例数を表7に提示し、補助動詞 ög- が表す意味が、これらの副動詞接尾辞とどのように関わっているかをみてみる。

表7　補助動詞 ög- が表す意味と主動詞に付く各副動詞接尾辞ごとの用例数（延べ数）

| 副動詞接尾辞 / 意味 | -ju/-jü/-ču/-čü | | -γad/-ged | | -n | | 合計 | | 総数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | |
| 授受的意味 | 103 | 21 | 14 | 0 | 7 | 0 | 124 | 21 | 145 |
| 行為の完遂 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 | 11 |
| 合計 | 103 | 21 | 25 | 0 | 7 | 0 | 135 | 21 | 156 |

表7と、コーパスから見つかった例文を照らし合わせながら分析すると以下の通りである。

1. 授受的意味を表す場合:
   - -ju/-jü/-ču/-čü で現れた例文がもっとも多い。Čenggeltei（1999）は、「主動詞と補助動詞を結びつける場合、一語としての働きをさせる」（Čenggeltei 1999: 251）と述べているが、本研究では、송재목（1998）と同じく、「主動詞と補助動詞を結びつける場合に、もっとも一般的に使われるのが、-ju/-jü/-ču/-čü である」（송재목 1998: 93）と考える。
   - -γad/-ged の形で現れた14例のうち、ög- に過去を表す -be と -l_e が後続する例文が一例ずつ見つかったが、その他はすべて意志・求形・命令形、条件表現が後続している（例文（6）を参照）。

このことから、話し手が結果を意識して話していると考えられる。

・-nの形で現れた例文が7例あった（例文（8）を参照）。Сун Бёнгγ（2011）は、補助動詞 ög- が「-nに後続することは不可能である」（Сун Бёнгγ 2011: 94）と述べているが、「中部方言」において、-nに後続することは可能であることが証明された。この差異について更なる調査が必要である。

・否定表現と共起するか否かという観点からみてみると、-ju/-jü/-ču/-čüの形のみが否定表現と共起している。筆者の内省によれば、-n、-γad/-ged の形は、否定疑問文を除き、否定表現と共起することが不可能である。これは、-n が表す瞬間性と -γad/-ged が表す結果性と関係していると考えられる。

2.「行為の完遂」の意味を表す場合、すべての用例が、-γad/-gedの形で現れた。その原因は、-γad/-gedの表す結果性が強いためであると考えられる。11例のうち、ög- に習慣を表す -deg が後続する例が一例、条件を表す -bel が後続する一例見つかったが、その他すべて過去テンスを示す動詞語尾 -jei/−čei、-gsen、-l_e が後続している。（例文（10）、（12）を参照）。このように「行為の完遂」の意味を表す場合、過去テンスと共起し易いであろう。全て肯定表現と共起し、後続する ög- の後ろに、条件表現がくることはあるが、希求形、命令形表現がくることはない。

## 8. おわりに

本稿では、コーパスとアンケート調査を基に、「中部方言」における補助動詞 ög- の意味、そしてその意味が実現する条件を明らかにした。補助動詞 ög- には、先行研究で言及しているように授受的意味と「行為の完遂」の意味があり、その意味は、主動詞の性質（限界性、意志性）、主動詞に後続する副動詞接尾辞、及び ög- に後続する肯定・否定表現と深く関わっていることが分かった。コーパスからはいくつかの方言の作者の作品からの例文を見つけることができなかったが、アンケート調査を通じて、すべての方言において、これらの表現が使われていることが確認できた。

〔凡例〕

| | | | |
|---|---|---|---|
| _ | 語末分かち書き母音 | CAU | causative 使役 |
| - | 形態素境界 | COL | collective 集合 |
| - | 格境界 | COM | comitative 同格 |
| + | 複合語内部の語境界 | COMP | čompletive 完成 |
| 1 | first person 一人称 | DAT | dative locative 与位格 |
| 2 | second person 二人称 | E | epenthesis 挿入音 |
| 3 | third person 三人称 | EXIS | existence 存在 |
| ABL | ablative 奪格 | FP | focus particle 焦点化小辞 |
| ACC | accusative 対格 | FUT | future 未来 |
| ANT | anterior 先行副動詞 | GEN | genitive 属格 |
| ASS | associative 随伴 | INS | instrumental 道具格 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| IMP | imperative 命令 | PRS | present 現在 |
| LMT | limitative 限界 | QP | question particle 疑問小辞 |
| MP | modal particle モダリティー小辞 | RCP | reciprocal 相互 |
| MOM | momentaneous 瞬間相 | RDP | reduplicated form 重複 |
| NEG | negative 否定 | REAL | realis 既然法 |
| NMLZ | nominalizer 名詞化 | REFL | reflexive possessive 再帰所属 |
| OPT | optative 希求 | SFP | sentence final particle 終助詞 |
| PASS | passive 受け身 | SIM | simultaneous 同時副動詞 |
| PAST | past 過去 | TR | transitive 他動詞 |
| PRF | perfect 完了 | VN | verbal nominal 形動詞語尾 |
| PL | plural 複数 | VOL | volitional 意志 |
| POSS | possessive 人称所属 | | |

**〔参考文献〕**


Čenggeltei（1999）*Odu üy_e-yin mongγul kele.* Kokeqota, Öbür mongγul-un arad-un keblel-ün qoriy_a.

Dawadaγba, B.（1999）Mongγul kelen-ü üile üge-yin “tusalaqu sinǰi”-yi tursin aǰiγlaγsan ni. *Öbür mongγul-un yeke surγaγuli-yin erdem sinjilgen-ü sedgül*, 2 duγar quγučaγ_a: 59-71. Öbür mongγul-un yeke surγaγuli.

フフバートル・松川節・栗林均編（1997）『モンゴル語研修テキスト』3. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

Grønbech, Kaare and John R. Krueger（1976）*An Introduction to Classical (Literary) Mongolian*. Otto Harrassowitz, Wiesbaden.

工藤真由美（1995）『アスペクト・テンス体系とテクスト―現代日本語の時間の表現―』ひつじ書房

栗林均（1989）「内モンゴル語」亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典　第2巻　世界言語編　中』. 1426-1434. 三省堂

Mongγul kelen-ü toli nayiraγulqu duγuyilang（1999）*Mongγul kelen-ü toli.* Öbür mongγul-un arad-un keblel-ün qoriy_a.

内蒙古大学蒙古語文研究室編（1976）『蒙汉辞典』呼和浩特　内蒙古人民出版社

清格爾泰（1991）『蒙古語語法』内蒙古人民出版社

定延利之（2005）「日本語の動作動詞と変化動詞」第1回中日理論言語学研究会ハンドアウト

斯欽格日楽（2015）「モンゴル語の補助動詞 γar- の機能について」『日本モンゴル学会紀要』45: 9-23. 日本モンゴル学会

Сун Бёнгү（2011）Орчин цагийн монгол хэлний туслах үйл үгийн судалгаа. Диссертаци, Монгол Улсын Боловсролын Их Сургууль, Улаанбаатар.

송재목（1998）〈할하 몽골어 보조동사구문에 대하여〉. 언어학23권　79-110

田中真理（2001）「ディスコースと日本語教育」『認知文論、日本語教育学シリーズ』5: 183-229　おうふう出版

寺村秀夫（1984）『日本語のシンタクスと意味　第Ⅱ巻』くろしお出版

梁井久江（2006）「日本語における文法に関する実証的研究-テシマウ相当形式を中心に」東京都立大学大学院

人文科学研究科 博士学位論文
吉川武時（1989）『日本語文法入門』アルク 東京

**SUMMARY**

In this paper, we have clarified the functions of the auxiliary verb *ög-* in several Mongolian dialects, spoken in Inner Mongolia, by analyzing the corpus and responses to a questionnaire.

We found that the auxiliary verb *ög-* represents the benefactive meaning and accomplishment of an act, and it depends on the types of main verbs (particularly associated with the volitionality), converbal suffixes of a main verb, and expressions occurring after *ög-*, such as affirmative/negation.

Although we could not find any examples of the auxiliary verb *ög-* in several dialects from the corpus, the result of an analysis of the responses in the questionnaire shows that the speakers of those dialects use the auxiliary verb *ög-* colloquially.